

シクラメンにおける INSVの被害と防除対策

INSV (*Impatiens necrotic spot virus*)

キクのTSWV(トマト黄化えそウイルス)、トルコギキョウのIYSV(アイリスイエロースポットウイルス)と同じTospovirus属のウイルスで、花きの重要病害である。

シクラメンにおける主な症状



・感染していても無病徴の場合があり、特に夏の高温時は症状が現れにくい。

・発症の程度には品種間で差がある。

例) ピアス、ビクトリア...発症例が多い

ミニ系品種

...発症例が少ない

INSVの感染が確認されている植物

花き類



他に、ベゴニア、マリーゴールド、インパチェンス、トルコギキョウ など

雑草



野外で見られる多くの雑草が感染する。
ただし、ほとんどが無病徴感染である。

INSVの拡がり方

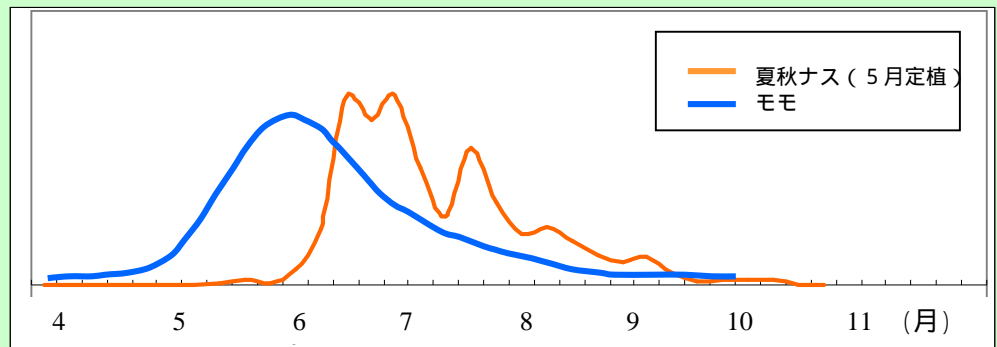
- ・他の感染植物から、主にミカンキイロアザミウマが媒介して伝染する。
(近年、ヒラズハナアザミウマによる媒介も確認されている)
- ・種子伝染や土壌伝染はしない。

ミカンキイロアザミウマの生態



ミカンキイロアザミウマ
雌成虫

- ・雌成虫 1.4 ~ 1.7 mm、雄成虫 1 mmの微小昆虫。
- ・山梨県内の標高400 m地点でも露地での越冬が確認されている。
- ・5月から7月にかけて、発生が多くなる。



露地でのミカンキイロアザミウマ発消長

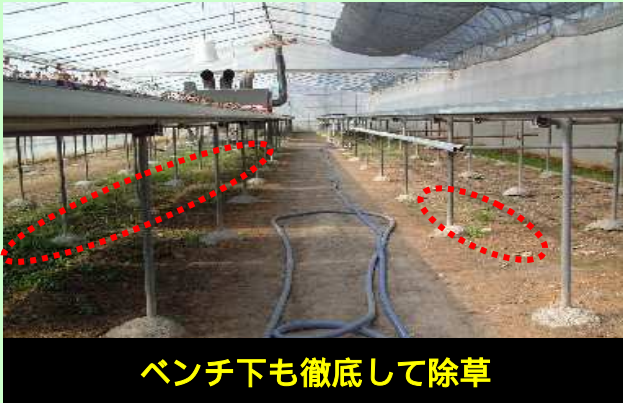
ミカンキイロアザミウマによるINSV伝搬のしくみ



防除方法

不要な植物の除去

雑草...感染雑草の多くは無病徴であるため、すべての雑草の除去を徹底する。
また、ミカンキイロアザミウマの生息場所ともなるので、媒介虫の密度を下げるためにもハウス内外の除草を徹底する。



ベンチ下も徹底して除草



ミカンキイロアザミウマは、花粉を食べると産卵数が急激に多くなる。
雑草は開花前に特に徹底して除草する。

感染株

栽培中に病徴が現れた株もウイルスの感染源となるため、必ずハウス外に持ち出し処分する。

媒介虫ミカンキイロアザミウマの密度抑制

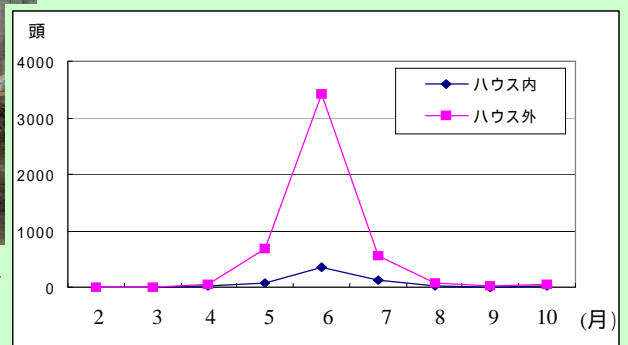
(1)防虫ネットの設置



送風ファン

設置により、風通し・室温等のハウス内環境が改善される

ただし、ネットによる効果を得るためには、
・網目は1mm以下
・開口部の開閉時に注意を払う



防虫ネット設置圃場における
ハウス内外のミカンキイロアザミウマ発生消長(2005年)

!!注意!!

防虫ネットによって、アザミウマ類の侵入は完全には防げない。
防虫ネットでアザミウマ類の密度を下げたうえで、薬剤防除など他の方法と組み合わせ徹底的に防除する。

(2)薬剤による防除 (次頁の表を参考)

- ・薬剤抵抗性を防ぐため、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- ・薬剤については、指導機関の指導のもとに散布を行う。
- ・苗導入時及び育苗期から防除を徹底する。

ミカンキイロアザミウマの総合的防除体系 (例:シクラメン)

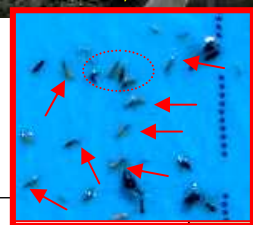
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
栽培体系		セル苗	2.5号鉢	3.5号鉢		6号鉢						出荷
耕種的防除	年間を通して、ハウス内外の除草を定期的に行う 年に1~2回、ハウスを空にして2週間以上締め切り、残存虫を死滅(餓死)させる											
物理的防除	防虫ネット設置											

化学的防除

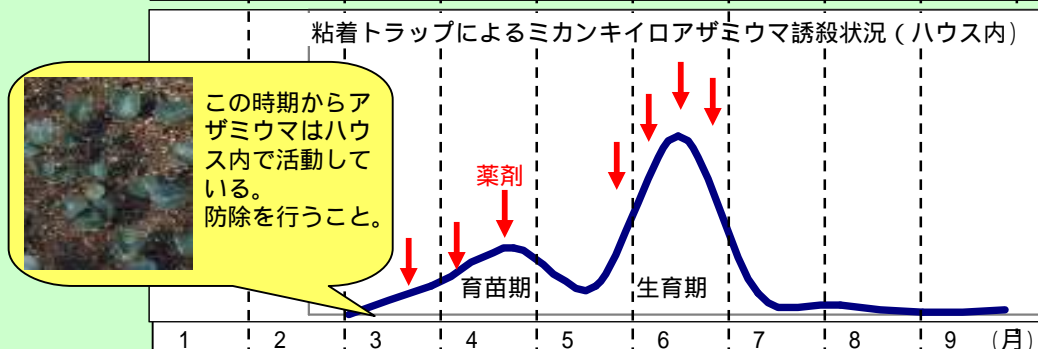
粘着トラップを用いた適期薬剤防除

【方法】
青やピンクの粘着トラップを吊す。
1~2週間間隔で誘殺虫数を確認し、
誘殺状況に応じて随時薬剤防除を行う。

ミカンキイロアザミウマの誘殺の様子 (右下は拡大)



約1.5cm



ミカンキイロアザミウマ登録薬剤 (平成19年2月末現在)

系統	薬剤名	希釈倍率(ミカンキイロアザミウマ・アザミウマ類での適用)	適用	その他の適用害虫
新規化合物	アフーム乳剤	2000倍	花き類	オオタバコガ、ヨトウムシ類等
ネオニコチノイド系	アクタラ顆粒水溶剤	1000倍	花き類	ハモグリバエ類
有機リン系	マラソン乳剤	2000~3000倍	花き類	ハダニ類、アブラムシ類 アブラムシ類、ヨトウムシ類等
	オルトラン水和剤	1000~1500倍	花き類	
ネライストキシン系	パダンSG水溶剤	1500倍	シクラメン	
	エピセクト水和剤	1000倍	シクラメン	

花き類登録の薬剤については、試しがけ等を行い、薬害に十分注意した上で散布を行う。
登録内容は随時変更されるため、最新の登録内容を確認する。

問い合わせ先

山梨県総合農業技術センター

〒400-0105 山梨県甲斐市下今井1100

調査部 (山梨県病害虫防除所)
農業技術普及部 花き専門科

Tel 0551-28-2941
Tel 0551-28-2973